

授業科目名・形態	司法福祉論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	藤田 博章	実務経験の有無	無	開講期	4年前期

【授業の主題】

刑事司法は、犯罪・非行をした人に対応するものであるが、福祉やソーシャルワークとも関係が深い。近年、高齢者受刑者及び障害受刑者が増加していることと高齢刑余者及び障害刑余者の再犯率が高くなっている。そのようなことをふまえ、刑事司法とかかわる人には様々な支援ニーズがあることが広く認識されるようになり、「司法と福祉の連携」の必要性が指摘されている。本科目は刑事司法・少年司法分野における手続きや制度上の処分に関して学び、「更生保護」の理念と仕組みを理解することを通して、罪を犯した人に対する福祉的支援を学び、その意義を理解する。

【到達目標】

- 1) 刑事司法の近年の動向と制度の仕組みを理解する。
- 2) 刑事司法における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割について理解する。
- 3) 刑事司法の制度に関わる関係機関等の役割について理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 刑事司法と福祉総論
- 第2回 社会と犯罪
- 第3回 犯罪原因論と対策
- 第4回 刑罰とは何か
- 第5回 刑事司法
- 第6回 少年司法
- 第7回 施設内処遇① ー成人ー
- 第8回 施設内処遇② ー少年ー
- 第9回 社会内処遇① ー更生保護の理念と概要ー
- 第10回 社会内処遇② ー更生保護の実際ー
- 第11回 多様なニーズを有する犯罪行為者① ー精神障害者を対象とした医療観察制度ー
- 第12回 多様なニーズを有する犯罪行為者② ー高齢者・障害者による犯罪・非行と福祉ー
- 第13回 多様なニーズを有する犯罪行為者③ ーアディクションを抱える人と刑事司法ー
- 第14回 犯罪被害者等支援
- 第15回 コミュニティと刑事司法

【授業実施方法】

基本的に講義形式で行う。また、学生の授業への積極的な参加を目的として、ディスカッション、プレゼンテーションを適宜実施する。

【授業準備】

社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験必須科目である、テキストを中心とした予習を十分に行うこと。

【主な関連する科目】

精神保健福祉制度論Ⅰ・Ⅱ、障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ、高齢者福祉論Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】

最新・社会福祉士養成講座10 刑事司法と福祉、中央法規、2021.

【参考文献】

必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

成績評価は、授業への取り組み姿勢（10%）、提出物（20%）定期試験（70%）、で総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

刑事司法手続の用語が独特なので戸惑うことが多々あると思うが、刑事司法の仕組みは非常に合理的で意義深い理念で成り立っている。本講義のなかで、ぜひとも刑事司法と福祉のかかわりを理解するようにしてもらいたい。